

2025年9月12日

東京都千代田区紀尾井町3-12  
アイティメディア株式会社  
代表取締役社長 小林教至  
(東証プライム市場、証券コード:2148)

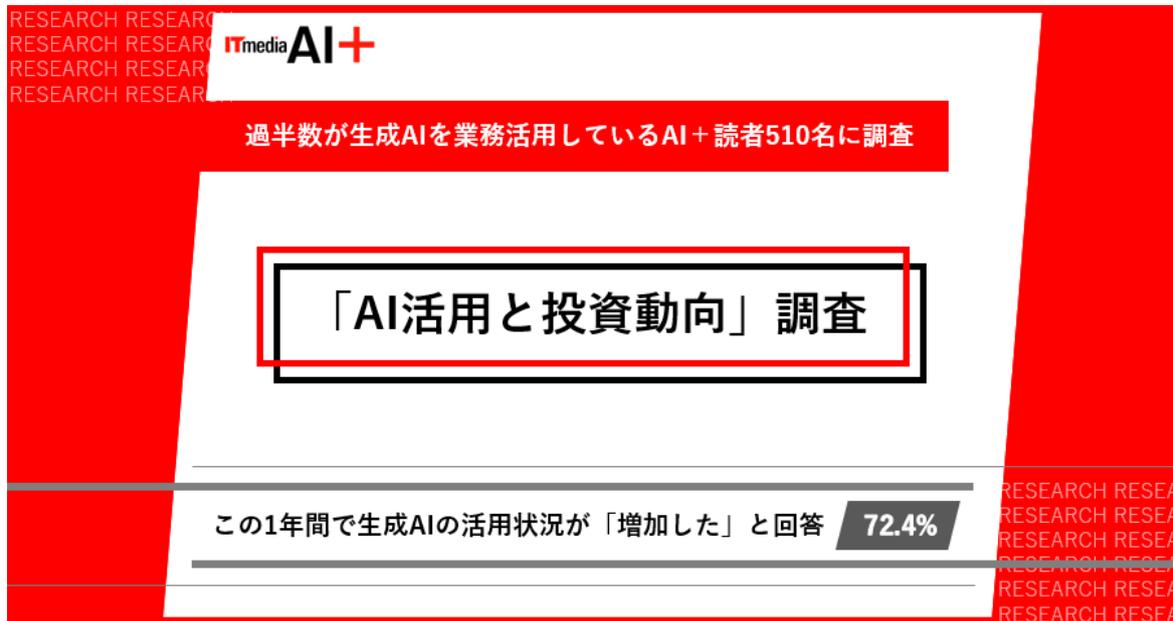
\*\*\*\*\*

-生成AIの業務活用 約7割がこの1年で増加と回答-  
AI活用に積極的な510名に聞いた「AI活用と投資動向」調査

\*\*\*\*\*

<https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2025/09/12/research/>

アイティメディア株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:小林教至、以下アイティメディア)は、AI専門情報サイト「ITmedia AI+ (アイティメディア・エーアイプラス)」の読者を対象に、「AI活用と投資動向」に関する調査を実施しました。本リリースでは、本調査から明らかになった企業の「AI活用と投資動向」についての調査結果をお伝えいたします。



■調査概要

- ・調査対象:「ITmedia AI+」読者
- ・回答数: 510 件
- ・調査期間: 2025年4月16日～2025年5月2日
- ・調査方法: Web サイトでの自記式アンケート

## ■ 調査結果サマリー

**Point 1** この1年間で生成AIの活用状況が「増加した」と回答した読者は**72.4%**、そのうち**31.2%**が「大幅に増加」と回答

**Point 2** 実際に効率化の効果を感じている業務領域は、「データ分析・リサーチ」が**19.4%**でトップ、次いで「コーディング」(**16.6%**)、「コンテンツ制作」(**9.2%**)

**Point 3** AI導入における最大の障壁は、「費用対効果の不明確さ」(**48.8%**)、「社内での専門知識・スキル不足」(**36.2%**)、「セキュリティ・データ漏えいリスク」(**32.5%**)が上位

Y SUMMARY SUMMARY SUMMARY SUMMARY SUMMARY SUMMARY SUMMARY SU

(本調査の詳細をダウンロード)

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-08-28/2d2nwyn>

※要会員登録(無料)

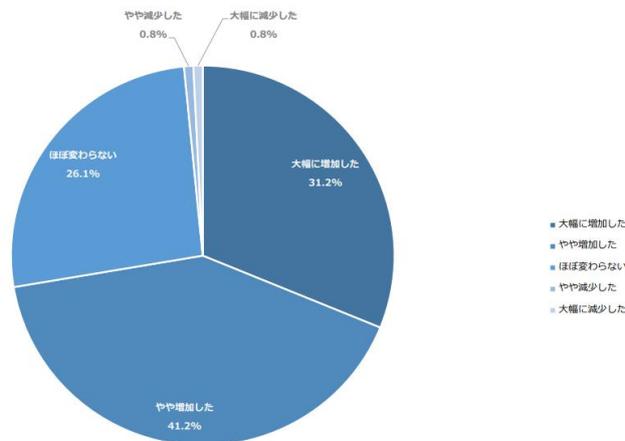
## ■ 調査結果の詳細

### 1. 業務での生成 AI 活用状況

この1年間で生成AIの活用状況が「増加した」と回答した読者は72.4%に上り、そのうち31.2%が「大幅に増加」と回答しています。これは、AI活用が一時的なトレンドではなく、明確かつ加速的な増加傾向にあることを示しています。

1年前と比較して、あなたの生成AIの活用状況はどのように変化しましたか？

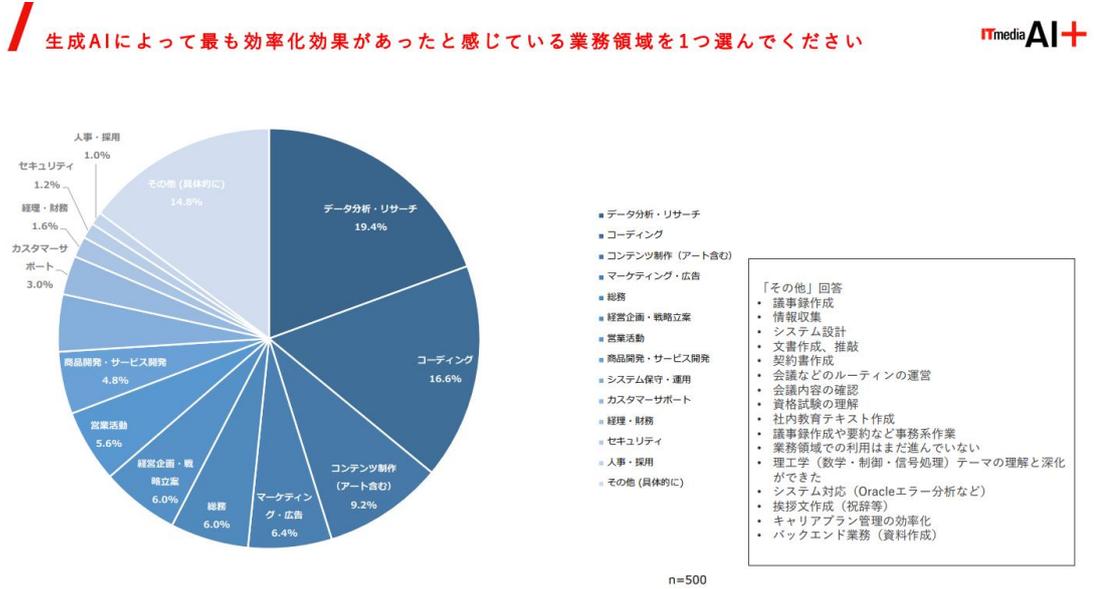
ITmedia AI+



n=510

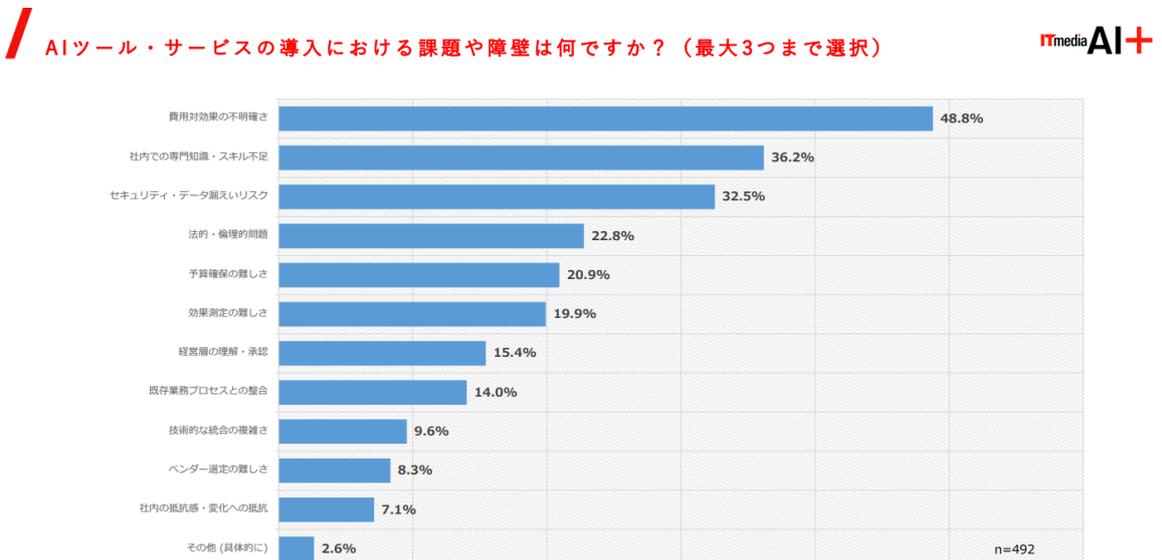
## 2. 生成 AI の効率化の効果を感じている業務領域

「データ分析・リサーチ」が 19.4%でトップ、次いで「コーディング」(16.6%)、「コンテンツ制作」(9.2%)が挙げられています。



## 3. 企業での AI 導入における最大の障壁

「費用対効果の不明確さ」(48.8%)、「社内での専門知識・スキル不足」(36.2%)、「セキュリティ・データ漏えいリスク」(32.5%)が上位を占めています。



(本調査の詳細をダウンロード)

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-08-28/2d2nwyn>

※要会員登録 (無料)

## ■調査結果への考察

本調査の結果について、ITmedia AI+の井上編集長は以下のようにコメントしています。



この調査結果から、日本企業における AI 活用は着実に進んでいるものの、導入には依然としていくつかの課題があることが明らかになりました。特に、技術的な側面だけでなく、費用対効果の可視化やセキュリティといった経営・コンプライアンス面での課題が、今後の AI 導入をさらに加速させるための重要なポイントになると考えられます。

ITmedia AI+は、AI のビジネス活用において具体的なニーズと課題を抱え、最先端の情報を求める ITmedia AI+の読者のニーズに応えるべく、引き続き AI に関する最新技術動向、活用事例、導入課題解決に向けたソリューション情報などを多角的に提供してまいります。

≫参考:-半年間で約5倍に成長- AI 専門情報サイト「ITmedia AI+」月間300万ページビューを突破

[https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2025/08/27/aipplus\\_3m/](https://corp.itmedia.co.jp/pr/releases/2025/08/27/aipplus_3m/)

### ■調査項目

1. 現在の生成 AI とのかかわり方の状況
2. 1年前と比較して、生成 AI の活用状況はどのように変化したか
3. 定期的に使用している生成 AI ツール
4. 今後、使ってみたい生成 AI ツール
5. 生成 AI (ChatGPTPlus、ClaudePro など) に支払っている月額費用
6. 現在、生成 AI を実際に活用している用途
7. 今後、新たに生成 AI を活用したい、または活用を拡大したい用途
8. 生成 AI によって最も効率化効果があったと感じている業務領域
9. 直近1年以内で、AI 関連のソリューション導入・サービス利用にかけた予算規模
10. 昨年度と比較して、今年度の AI 関連投資予算はどのように変化したか
11. 勤め先の AI 関連投資の主な対象
12. AI ツール・サービスの選定において、重視する要素
13. AI ツール・サービスの導入における課題や障壁
14. 組織内の AI ガバナンス体制整備状況
15. 社内の AI 人材育成について取り組んでいること

下記より完全版レポートを無料ダウンロードいただけます。

「ITmedia AI+ AI 活用と投資動向調査」(2025年5月発行)

<https://go.itmedia.co.jp/1/291242/2025-08-28/2d2nwyn>

※要会員登録(無料)

※本資料内の図版等を、営業資料や講演資料などで無断でご利用いただくことはご遠慮ください。

---

<本リリースに関するお問い合わせ>  
アイティメディア株式会社 広報担当  
<https://corp.itmedia.co.jp/pr/inquiry/>

---

■「ITmedia AI+」について <https://www.itmedia.co.jp/aipius/>

生成 AI を中心とする AI のビジネス活用にフォーカス。業務改善や新規事業の応用事例、活用方法、機能比較、ルール整備といった情報を読者に日々届けることで、AI 活用をサポートします。

■ アイティメディア株式会社について <https://corp.itmedia.co.jp/>

IT、ビジネス、製造・産業、コンシューマー領域を専門とする、インターネット専門のメディア企業です。IT 総合情報ポータル「ITmedia」をはじめ、IT エキスパート向けの問題解決メディア「@IT」、モノづくり専門情報ポータル「MONOist」、トレンド情報メディア「ねとらぼ」など、ビジネスパーソンからコンシューマーまで、幅広い層に支持されるメディアを展開。

月間4億ページビュー、6,000万ユニークブラウザという圧倒的なリーチ力で、読者のニーズに合わせた信頼のおける情報を迅速かつ正確に発信しています。

[東証プライム市場、証券コード:2148]